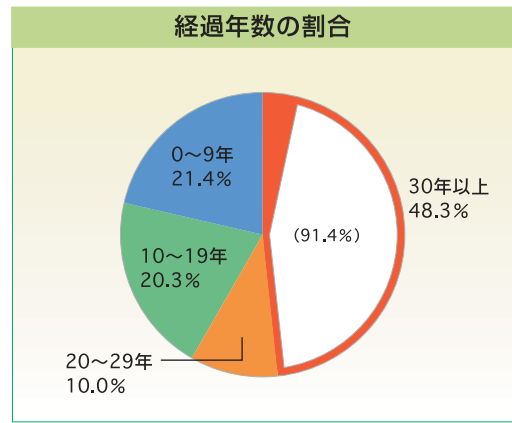
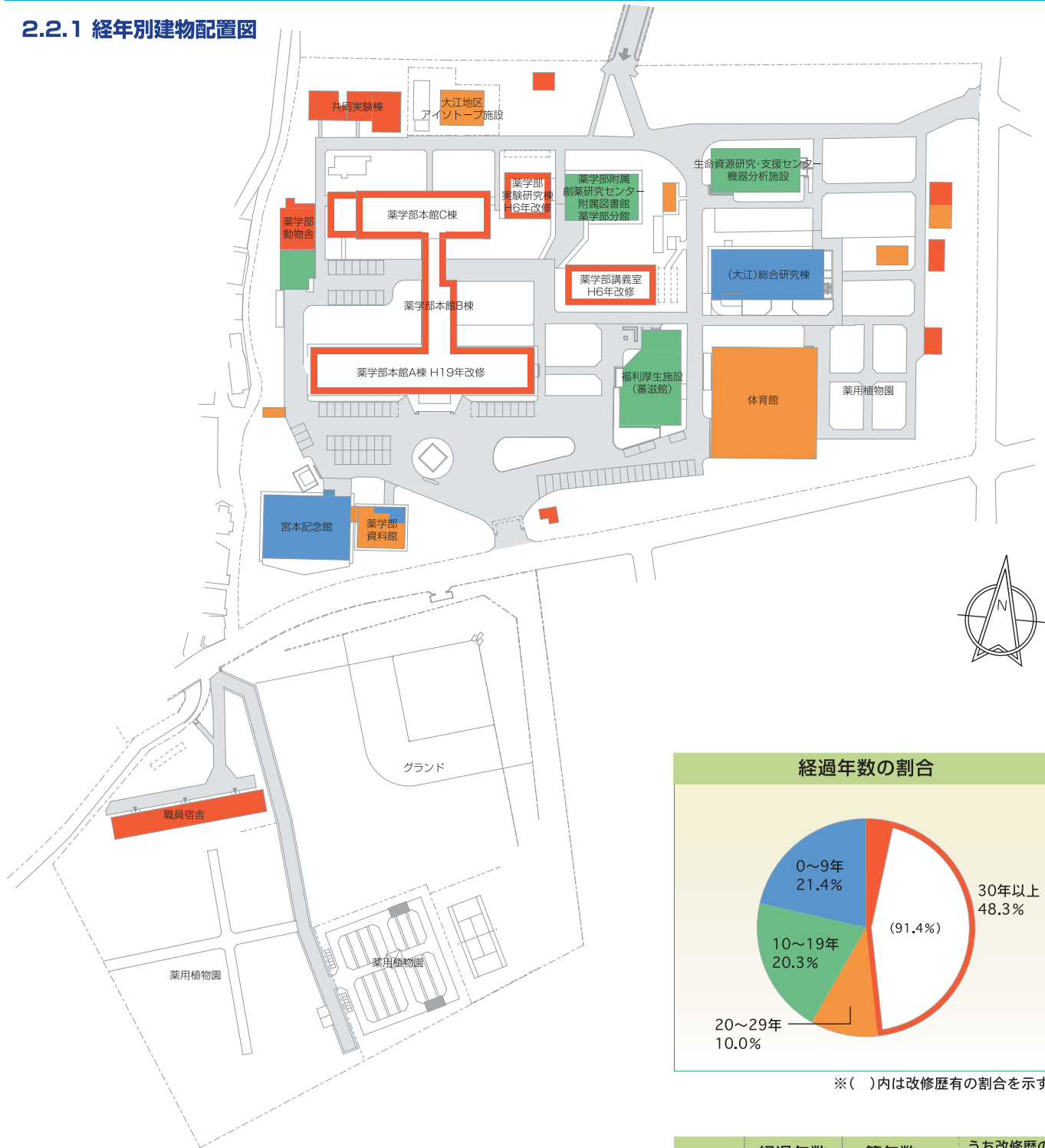


2. キャンパス概要

2.2 施設の現状

2.2.1 経年別建物配置図



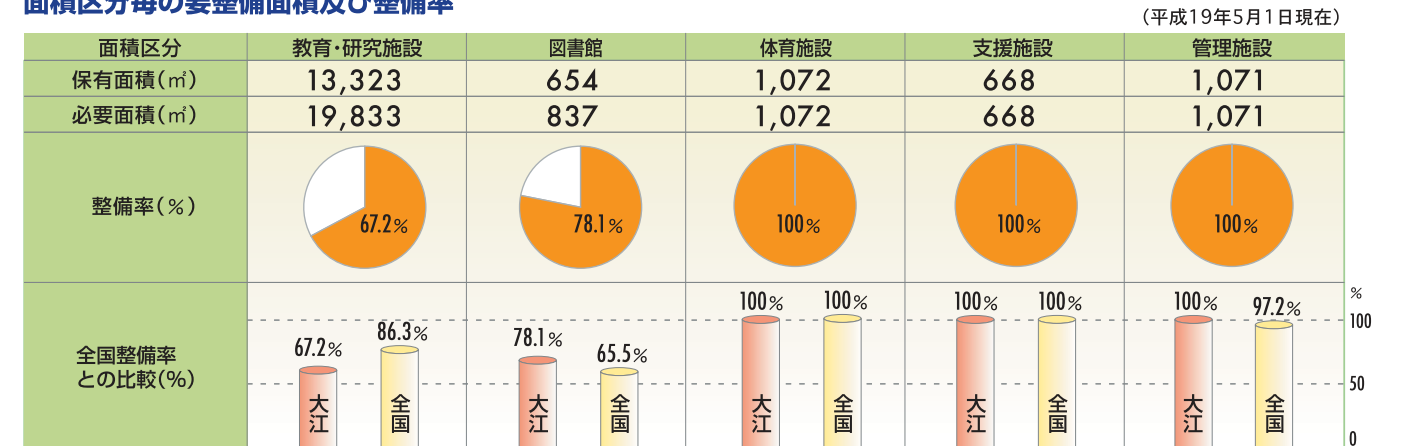
経過年数	築年数	うち改修歴のある建物
30年以上	昭51年以前	
20～29年	昭52～61年	
10～19年	昭62～平8年	
0～9年	平9年以降	

(平成19年5月1日現在)

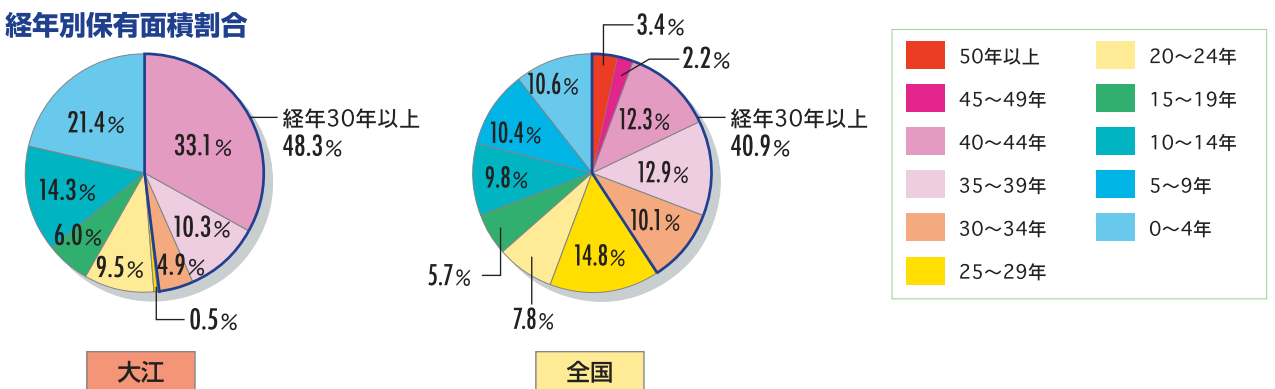
2.2.2 現状施設のデータ

大江キャンパスにおいては保有面積が約17,200㎡あり、その内、経年25年以上の建物面積が約8,400㎡で全体の5割を占めている。この内7,600㎡の施設は耐震補強を含めた老朽改善整備を完了し、耐震化は概ね完了した。残る施設についても老朽化の進行に合わせ、バリアフリー対策を含めた老朽改善整備を計画的に実施する必要がある。また、教育・研究施設の整備率は67%と低く深刻な狭隘状況にある。今後は、既存施設の有効利用を図りつつ、教育、研究の充実にに向けた整備を行う。

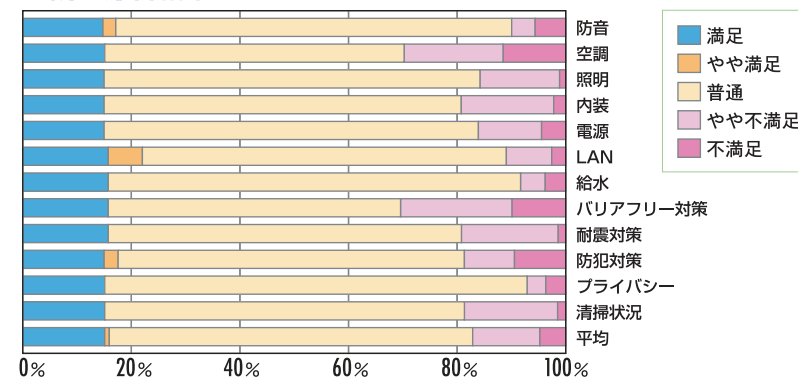
面積区分毎の要整備面積及び整備率



経年別保有面積割合

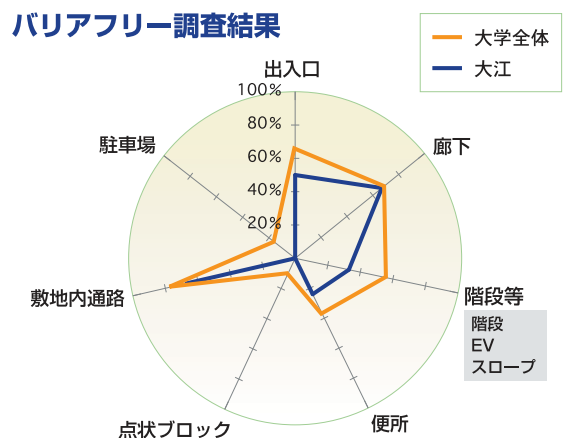


室調査分析結果



教職員を対象とした室調査によると、特に「空調」、「バリアフリー対策」について不満足、やや不満足と回答した割合が平均値を大きく上回り、特に利用者が不満と感じている。このデータからも既存建物に対するバリアフリー対策を含めた老朽改善整備が必要である。

バリアフリー調査結果



バリアフリー調査集計表によると、廊下等や敷地内の通路を除いて対策率が5割以下となっている。このデータは大学全体に比べても低い値となっており、整備の必要がある。